



2025 April
236号

議会だより

特集
須恵町議会基本条例制定
P.2

令和7年4月30日発行

3月定例会	4	追跡.....	14
一般質問 2議員が登壇	10	議会あれこれ.....	15
中部防災センター.....	12	おじゃましま〜す！.....	16
委員会レポート.....	13		

表紙シリーズ 未来を担う子どもたち「今日から入園だ!!」

おじゃましま〜す!

第8回 合屋フルーツマト農園

ふるさと納税の返礼品を手掛けてくださっている町内の事業所取材しました。

住所：須恵町大字植木1022-2
TEL：070-2412-1010

第8回は、ふるさと納税返礼品で、フルーツマトが人気の「合屋フルーツマト農園」様に、おじゃましま〜す！

迎えて下さいましたのは、生産者の合屋尚子さん。須恵町生まれの須恵町育ち、実家は農家。就職で県外へ。製造業の開発部門に配属され、普通のOL生活も楽しかったそうです。OL時代に島根県で栽培されているフルーツマト(フルティカ)に出会い、あまりの美味しさに感動！平成29年に須恵町に帰り、OLから生産者へ。ビニールハウス5アールの小さな農園ですが、農園主になりました。

美味しさの秘密は糖度。一般的なトマトの糖度は4〜5度と言われていますが、合屋さんのトマトは平均糖度7〜12度で摘み初めから終わりまでどんどん甘みが増していきます。さらにその他の栄養素も高水準の質の高いトマトであるだけでなく、酸味も抑えられているため、より甘みが引き立ちます。お子様やトマトが苦手な方にもとても食べやすいトマトです。

トマト愛の深い合屋さん。たくさん採るのではなく、少量をおいしく作りたい。もうからないけど品質重視です。トマトの実る枝を見て成長を実感すると「やった！」って思うのだそうで。失敗もいろいろあったけど、

乗り越えて思いに近づいていく、まだまだ挑戦は続きます。

最後に、合屋さんのトマト。そのまま食べても、もちろん美味しい。ひと手間かけてパスタのソースにすると、酸味が少なくうまみが多い絶品になります。ジュレにもいいですよ。料理にもスイーツにも活かせる須恵町の味。合屋フルーツマト農園のフルティカ、ぜひご賞味あれ！



料理にもスイーツにも活かせる須恵町の味



合屋フルーツマト農園のトマトの目印は犬のマークです



編集後記

春は出会いと別れの季節です。定年退職、異動、入社、あるいは各種団体組織役員の交替や卒業式、入学式と大変慌ただしい季節です。そのような中、須恵町議会では、3月定例会期間中に卒業式や卒業式に参列しました。小学校の卒業式で、6年生の担任の先生が、こらえ切れず啜泣しているのを見て「習った人も、教えるのも人」。色んな関わり合いの中で、今日の日を迎えられるんだなあと思いました。思い出が錯綜する中で、どんな情景を思い出されて、涙されたかは知る由もありませんが、先生が涙するのを見て、私も目頭が熱くなりました。いつまでも感謝、感動を忘れないようにしていきたいと思います。

稲永 辰己

発行責任者

議長：松山 力弥

広報特別委員会

委員長：稲永 辰己
副委員長：田ノ上 真
委員：川口 満浩
委員：川原 幸治
委員：平山 諭

2025

4
April

福岡県須恵町議会だより Vol.236

【発行】 福岡県須恵町議会 【所在地】 〒811-2193 福岡県糟屋郡須恵町大字須恵771番地
【TEL】 092-932-1151 (内線 411 議会事務局) 【FAX】 092-933-6579
【印刷・製本】 株式会社三光



須恵町議会基本条例を制定

これまでの経緯

地方分権の進展により、地方自治体の自主的な決定と責任がますます求められる中、二元代表制の一翼を担う議会も、その役割と責任は、これまで以上に重要なものとなってきています。このような背景を踏まえ、須恵町議会では議会運営委員会が中心となって議会改革を行ってきましたが、より改革を進めるために、議会改革調査特別委員会を設置し、様々な検討を重ねてまいりました。

須恵町議会改革の経過		
H30	9	タブレット議会開始 (ペーパーレス化開始)
	R4	議員定数の削減(条例改正) 長期欠席議員の報酬減額(条例制定)
R5	9	須恵町議会映像配信開始(ライブ・録画配信) 議会改革調査特別委員会の設置
	11	議会運営委員会視察
	12	議会報告会について協議開始 一般質問に一問一答方式を採用
R6	1	近隣町に予算・決算審査について視察
	5	町執行部と予算(決算)委員会審査における提出資料 充実について要望書提出
	10	未来予想図カフェ(議会報告会)の開催
R7	3	須恵町議会基本条例制定



タブレット議会より
ペーパーレス化を図っています



議会報告会を兼ねた
「未来予想図カフェ」

令和7年3月定例会において制定

議会改革調査特別委員会では、町民の声を広く聴くために、議会報告会を兼ねた「未来予想図カフェ」を企画しました。また、予算審査において、より理解を深めるため事業カルテなどの資料を執行部に求め、令和7年3月定例会から活用しています。

そして、3月定例会の最終本会議において、委員会発議として提案し、須恵町議会基本条例を制定しました。

議会基本条例とは

議会運営の原則や町民と議会、議会と町長との関係などについて、議会の基本姿勢を明文化したものです。その内容は、これまで町議会が積み重ねてきた議会改革の成果を集約したものであり、町民福祉の向上と町政の発展に寄与することをその目的としています。

委員会から

議会改革調査特別委員会において、調査、協議を重ねて制定した議会基本条例は、その理念を全議員が共有します。議員の構成に変更があっても変わることはない議会の基本姿勢を明らかにしています。議会活動をさらに活性化し、議会での議論を充実させるとともに、より町民に開かれた議会とするため、継続して「未来予想図カフェ」を開催するなど、情報公開と町民参加の推進に努めます。併せて、議会改革と自己研鑽を継続し、公平公正な議会運営を徹底することにより、町民の信頼と負託に的確に応える議会であり続けることを目指してまいります。

須恵町議会基本条例

前文

須恵町議会（以下「議会」という。）は、須恵町民（以下「町民」という。）から選挙で選ばれた須恵町議会議員（以下「議員」という。）で構成され、同じく町民から選挙で選ばれた須恵町長（以下「町長」という。）とともに、須恵町の代表機関である。町民の信託を受けて活動するこの二つの代表機関は、健全な緊張関係を持ちながら、議会は合議制の議事機関として、町長は独任性の機関として、それぞれの特性を活かし、愛する郷土の発展のため、須恵町民憲章を基軸として、町民福祉の向上を図るために活動するものである。地方分権の時代を迎え、自治体の自主的な

決定と責任の範囲が拡大した今日において、これまで以上に議会が果たす役割と責任は大きい。われわれ議員は、地方自治法（昭和22年法律67号。以下「法」という。）の定めを遵守するとともに、積極的な情報の発信と公開、議員間の自由な討議の展開、町長等の行政機関との継続的な緊張保持、議員の自己研鑽と資質の向上、公正性と透明性の確保、議会活動を支える体制の整備等を実践し、町民に信頼され、存在感のある豊かな議会を築くため、ここに須恵町議会基本条例を制定する。

解説

以前から、地方議会への批判的な意見は多く、改善を問われてきました。そこで、約20年前から始まったのが「議会基本条例」の制定の動きであり、いまや制定済の地方議会が大多数です。

須恵町議会としても、町人口の増加や行政の果たすべき役割の大きさを考え、議会と執行部の関係性、

議員の活動原則、そして議会からの発信・町民との意見交換の充実などが求められる、と結論し、「須恵町議会基本条例」の制定となりました。

今後、須恵町議会はこの条例を通じて、町民の声に耳を傾け、政治の質を向上させるために努力していくことを決意し、町民の期待に応えてまいります。

条文概要

第1章 総則	第10条 (予算・決算における政策説明資料の作成)	第8章 議員の政治倫理
第1条 (目的)	第11条 (議決事件の追加)	第18条 (議員の政治倫理)
第2章 議会及び議員の活動原則	第5章 自由討議の拡大	第9章 議員報酬等の特例
第2条 (議会の活動原則)	第12条 (自由討議の推進)	第19条 (長期欠席議員の議員報酬の減額)
第3条 (議員の活動原則)	第6章 委員会	第10章 最高規範性及び見直し手続
第4条 (議会改革の推進)	第13条 (常任委員会等の設置)	第20条 (最高規範性)
第5条 (交流及び連携の推進)	第14条 (災害対策本部の設置)	第21条 (見直し手続き)
第3章 町民と議会の関係	第7章 議会及び議会事務局の体制整備	第22条 (委任)
第6条 (町民参加及び町民との連携)	第15条 (議員研修の充実強化)	
第7条 (議会広報の充実)	第16条 (議会図書室)	
第4章 議会と行政の関係	第17条 (議会事務局の体制整備)	
第8条 (町長等と議会及び議員の関係)		
第9条 (町長による政策等の形成過程の説明)		

第1回3月定例会は、3日から21日までの19日間開かれ、令和7年度の当初予算など審議の結果、追加議案を含め、提案された議案27件を原案のとおり可決しました。また、諮問1件を可決しました。

予算書の閲覧はこちらから
須恵町
ホームページ



議会の視点

① 一般会計は過去最高額を更新

当初予算の額は、見出しの通りです。主要因は、町税、地方交付税、国庫支出金の大幅増です。最高額に喜んでばかりもいません。国の事業の拡大により、一部負担する扶助費が増額しています。18.2%の増で構成比も4分の1を超えました。必要な支出ではありますが、町の自由度が低くなり、歳出が圧迫される一面もあります。

町税の増額は3億3千万円。経済の好調を表している一方、歳出で弱者対策が手厚くなっていることを併せて考えると、社会の格差が広がっているとも言えます。

② 物価高騰対策にも注力

主な内容は、記事にある通りですが、昨今の物価高騰に対しては、歳入の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が、2億3,500万円と昨年から倍増しており、必要な事業の予算に割り振られます。昨年の定額減税の続きで、定額減税補正給付金事業に1億7,800万円を計上しています。

③ 予算審査は活発な議論を

議会改革の一環で、執行部に対し予算審査の説明を様式化した資料を要求しました。議員の発する予算委員会での質疑は、まだ一層の努力を要する面もありましたが、少しずつ改革の前進を感じる審査となりました。議会報告会の成果なども生かしつつ、議員力を向上させ、より深い議論をしてまいりたいものです。

令和7年度 当初予算 136 億9000万円

一般会計
前年度比 6.1% 増

財政調整基金繰入金
(貯金の取り崩し) 7億8845万円
町債(借金) 5億5470万円

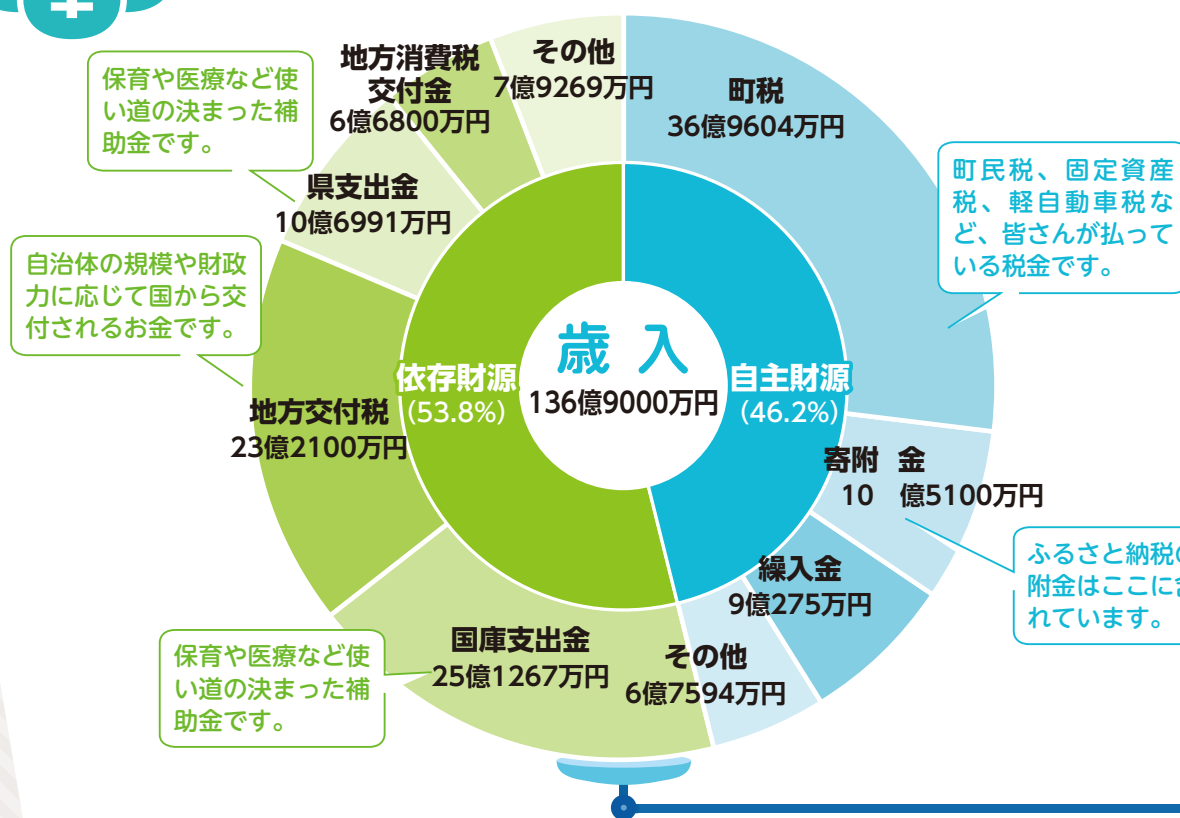
※令和7年度議員注目の事業は、6～7ページで紹介しています。

令和7年度一般会計当初予算は136億9000万円で、前年度に比べ7億9000万円の増額(6.1%増)で、過去最高の予算規模となっています。



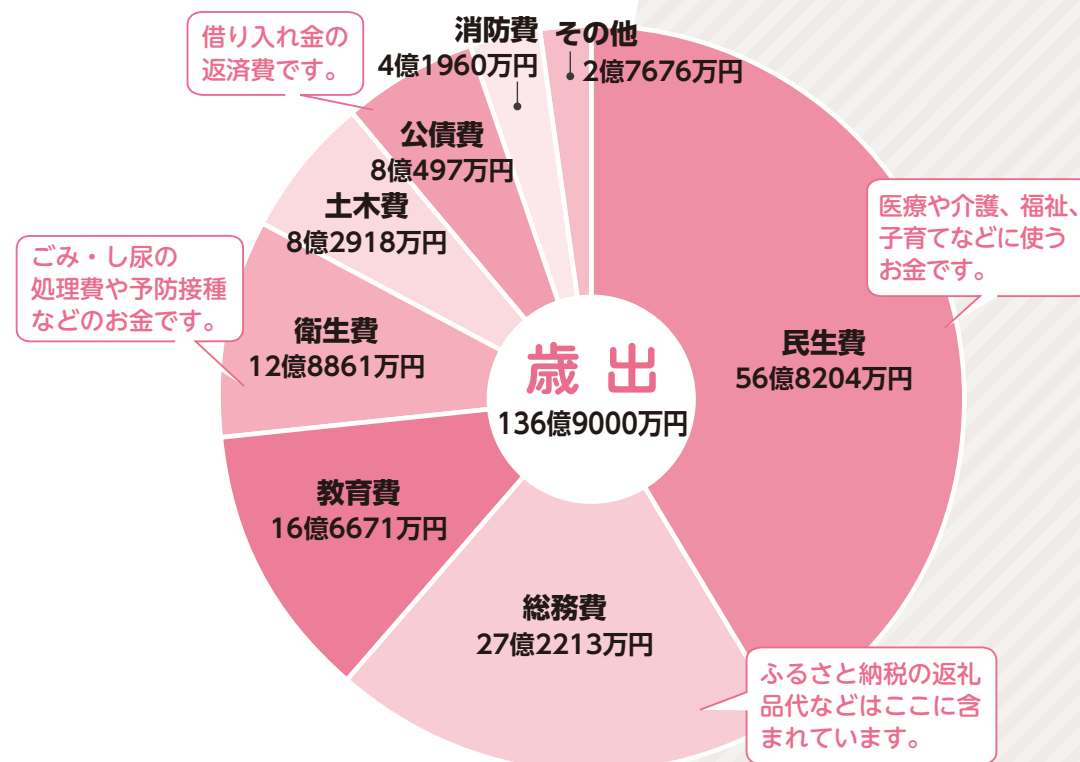
歳入

町税は、前年度比9.8%増の36億9604万円の収入を見込んでいます。また、見込んでいます。しかし、エネルギーおよび物価高騰対策などで国からの交付金が増えたこともあり、自主財源が1.3ポイント減少しています。



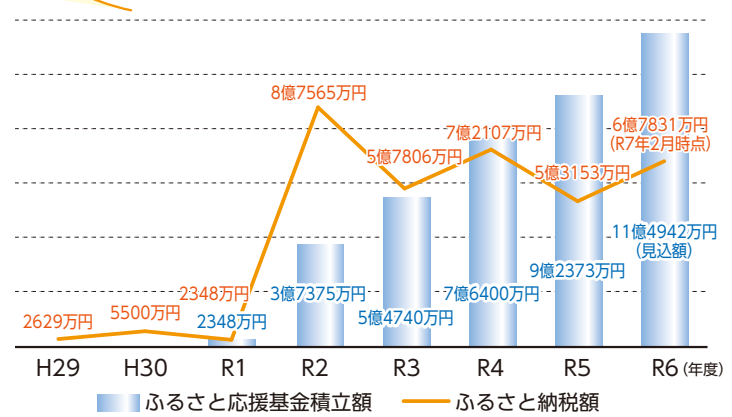
歳出

教育費は、校舎増改築、体育館空調整備工事請負費などで20%の増加となり、民生費は、障がい者支援費・自立支援給付費、保育所等整備事業費補助金、児童手当などで15.9%増加しています。衛生費は、定期予防接種業務委託料の減などで1.3%の減額となっています。



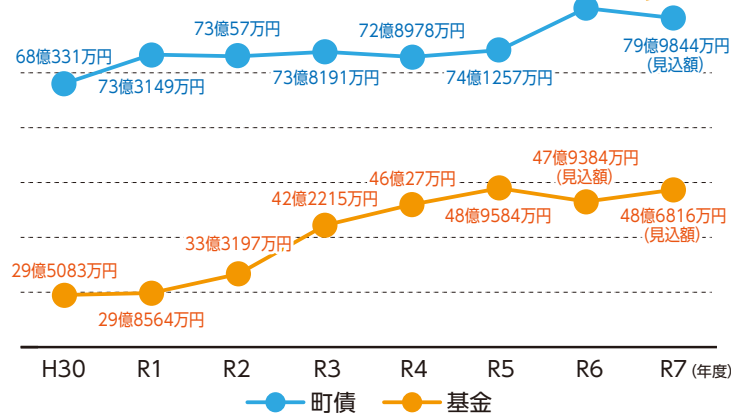
気になるデータをピックアップ

ふるさと納税額の推移



気になるデータをピックアップ

基金(貯金)と町債(借金)の推移



基金と町債の推移
油断できない状況が見て取れます。令和2年から5年にかけて基金が増えているのはコロナ特需。それが以降は、攻防戦のように推移しています。

一方、町債は増の傾向。どうしてもしなければいけない事業が多々あり、執行部の苦悩を感じます。議会も責任を果たしてまいりたいと思います。



予算審査特別委員会
田ノ上委員長コメント



予算審査特別委員会
稲永副委員長コメント

(ふるさと納税額の推移)
令和2年度以降、官民連携による努力や工夫を重ねてきたことにより、実績が伸びています。須恵町の取り組みや特産品の魅力が反映された結果だと思えます。今後も魅力ある須恵町を発信して頂きたいと思います。

※すべてのページにおいて、金額は1万円未満を切り捨てていますので、合計額が合わない場合があります。

教育

中学生
海外派遣事業774
万円

須恵町の将来を担う中学生を海外に派遣し、他国の文化・習慣に触れ国際感覚を身につけ、現地との交流を経験することにより、英語学習の意欲へとつなげていきます。

選考基準：須恵中・東中の1・2年生から希望者を募集

予定人数：15人(※定員を超えたときは抽選)

派遣先：シンガポール

日程：7月26日(土)～
7月30日(水)

議員の視点

短期間であっても、親元を離れ異文化に触れる旅は、子どもたちを一気に成長させる体験になるでしょう。

大人になったとき、
輝かしい日々と思い出して
ほしい。

田ノ上 真 議員

防犯

町内照明
LED化
改修工事1,000
万円

住みよい街づくり事業の一環として、町内の防犯灯をLED化することにより、行政区の電気料金などの財政的負担を軽減すると共に、地域生活の防犯性の向上を目指します。

議員の視点

防犯灯の整備により町民の生活環境の改善で、安全・安心な地域生活活動の手助けが出来ることを祈っています。

猪谷 繁幸 議員

施設

須恵第二
小学校校舎
増築工事4億6,897
万円

令和7年度に校舎増築(6教室分)を完成する予定です。

第二小校区の児童の増加や特別支援学級の増加により、教室が不足することから計画しています。

場所は、中庭の木心館横に増築予定です。

議員の視点

現在人口は、微増傾向ではありますが、将来的には、人口減少することを見据えた施設計画が重要だと考えます。

三角 栄重 議員

地域振興

プレミアム
付き
商品券発行事業350
万円

町内の小売店や飲食店および事業所で使用できるプレミアム付商品券。

町はプレミアム率分を助成します。

(販売総額)

3500万円 「プレミアム(割り増し)率15%」

(販売方法)

専用アプリ(すえpay)での申し込み

※応募多数の場合は抽選

(抽選日) 令和7年7月予定

議員の視点

町内の消費を喚起し、生活支援と地域活性化を図るためにできた事業です。物価高騰が続く中、町内の方々に愛される事業であり続けてほしいと期待します。

白水 春夫 議員

令和
7年度

注目事業

子育て支援

ファミリー
サポート
センター事業300
万円

保育園への送迎、一時預かりなどの調整をシルバー人材センターに委託(予定)して、子育てを相互援助するお手伝い組織です。地域における子育てを支え合う体制を拡充することにより、保護者が仕事と育児を両立し安心して働くことができる環境を整え、保護者の負担軽減を図るのが目的です。

議員の視点

地域における互助、助け合いの気持ちは大切です。ファミリーサポートセンター設置で今後、地域の子育てを支え合う体制が確立されることを期待しています。

川原 幸治 議員



施設

須恵中学校
体育館空調
整備工事1億8,826
万円

快適な教育環境の維持を図るため、体育館に空調整備の工事を実施します。

指定避難所でもあり、台風・豪雨などの災害時に使用することになります。



議員の視点

昨今の夏は、猛暑が続く避難者にとって、少しでも快適に過ごせる環境を整備することが求められています。

住民、そして子どもたちを守るとともに、防災対策に力を入れている安全なまちづくりを目指してほしいです。

川口 満浩 議員

教育

社会教育
推進事業
(部活動地域移行)260
万円

これまで教員が行っていた休日の部活動を、地域のスポーツ・文化芸術団体や民間事業者の活用などにより地域と連携・融合した形で環境整備を進めています。令和5年度から7年度までの3年を推進期間と位置づけ、令和6年度はモデル事業を3部実施しました。

令和7年度は更に5部増やし令和8年度の休日の完全移行に向けて活動と運営体制の両面の検証を進めます。

議員の視点

外部指導者としてスポーツ指導員認定者が適任と考えますが、保護者の安心を担保するうえで新規認定者の適正判定基準を設けるべきと考えます。

男澤 一夫 議員



予算審査特別委員会の質疑から

一部抜粋

Q CO₂ 減少になるか？

公用車管理事務

1,414万円

Q EV車導入は何台。

A 総務課長 軽自動車のEVを2台リースにて導入の予定。充電システムの工事も3基設置の予定。

? 新返礼品は効果あるか？

ふるさと応援寄附金事業 5億7,317万円

Q 前年の主力となった返礼品は。

A ふるさと応援課長 令和6年度は、「ウナギのかば焼き3尾」「福岡県産米元気づくし20キロ」「福岡県産あまおう6パック」がトップスリーで出ている。近況だが、須恵町に進出した天ぷらひらおから、須恵町オリジナルの返礼品を企画いただき、既に予約がかなり入っている状況。

? すえずきんちゃん？未来ちゃんのお友だち？

オープンイノベーション

戦略推進事業 6,158万円

Q ふるさと応援キャラクターは。

A ふるさと応援課長 須恵町出身のイラストレーターである田原ウーコ氏に、キャラクター作成を依頼し「すえずきんちゃん」という、ふるさと応援キャラクターを製作。同キャラクターの着ぐるみの作成を予定している。全国から様々な自治体が集まって、地場製品、返礼品のPRをする場や、各地で、須恵町のPRキャラクターとして登場させていきたい。



須恵町をPRする
ふるさと応援キャラクター
「すえずきんちゃん」

? 下水道は大丈夫？

Q 全国各地で、陥没などの事故の発生が見られるが、須恵町は大丈夫？詳しく聞きたい。

A 上下水道課長 埼玉県八潮市の事故が記憶に新しいが、事故現場は処理場に近いうところ。須恵町と環境が違う。それでも、国から全国に、緊急点検ということで点検項目が示された。須恵町に異常はない。下水道の供用開始は平成9年3月からで、約24年経過しているが、耐用年数内。一番古いところは城山団地、新原工業団地になる。点検は、管路の洗管後に、マンホールの中も点検。特に大きな破損箇所は見つからず、軽微な破損は即補修している。よくある修理は、マンホールの蓋



周辺の舗装面が若干、高圧密沈下により窪んで段差ができることがある。その場合は舗装のすりつけなどで対応するが、大きな陥没事故的なものは、今のところない。なお、須恵町で一番大きな下水道管は、直径800ミリメートル、約80センチの管であり、多々良川流域下水道と接続している部分になる。

Pick Up

3月定例会 その他の議案

■水道事業会計補正予算（第3号）

収益的支出	380万円を減額
資本的収入	965万円を減額
支出	1120万円を減額

■下水道事業会計補正予算（第2号）

収益的収入	4846万円を減額
支出	1362万円を減額
資本的収入	7782万円を減額
支出	6082万円を減額

令和6年度補正予算

各会計とも、年度末の決算見込額による調整が行われています。審議の5会計とも、全員賛成で可決です。

■一般会計補正予算（第9号）

3億4041万円を減額
総額137億2380万円

■特別会計

◆国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
増減なし（内訳の変更）
総額29億8374万円

◆後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
3586万円を追加
総額5億2230万円

第1回 臨時会 令和7年1月31日

令和6年度一般会計補正予算（第8号）
■1億2363万円を追加
総額 140億6422万円

●低所得世帯支援給付金事業
1億2363万円



その他の採決結果

須恵町宿泊税交付金基金条例の制定について (福岡県からの福岡県宿泊税を財源とし、本町における観光の振興を支援するため当該条例を制定する)	全員賛成で可決
須恵町監査委員条例の一部改正 (地方自治法の一部改正により、当該条例の一部を改正する)	全員賛成で可決
須恵町上水道給水条例の一部改正 (民法第166条規定に準ずる料金債権放棄に関する規定を追加し、水道料金の延滞金に関する規定を遅延損害金に関する規定に改めるため当該条例の一部を改正する)	全員賛成で可決
権利の放棄について (須恵町上水道給水条例の改正に伴い、消滅時効完成の料金債権を放棄する)	全員賛成で可決
町道路線の認定 (町道路線網の整備を図るため、7路線を新規認定する)	全員賛成で可決
福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更について (令和7年3月31日を限り、下田川清掃施設組合が解散されることに伴い、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数を減少し、同組合の規約を変更するため議決を求める)	全員賛成で可決
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について (上位法の一部を改正する法律の公布、施行に伴い、当該条例の一部を改正する)	全員賛成で可決
須恵町附属機関の設置に関する条例の制定について (須恵町附属機関にワンヘルス推進協議会、学校運営協議会を追加するため当該条例の一部を改正する)	全員賛成で可決
須恵町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 (情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の公布、施行に伴い、当該条例の一部を改正する)	全員賛成で採択
須恵町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 (育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成対策推進法の一部改正に伴い、当該条例の一部を改正する)	全員賛成で可決
須恵町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 (上位法の一部を改正する法律の公布、施行に伴い、当該条例の一部を改正する)	全員賛成で可決
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 (上位法の一部を改正する法律の公布、施行に伴い、当該条例の一部を改正する)	全員賛成で可決
須恵町地域防災施設設置条例の一部改正 (須恵町地域防災施設に中部防災センターを追加するため、当該条例の一部改正をする)	全員賛成で可決
須恵町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正 (上位法施行令の一部改正により、当該条例の一部を改正する)	全員賛成で可決
和解及び損害賠償金を決定することについて (コミュニティバス内での転倒事故について、損害賠償額を確定し、和解するため提案する)	全員賛成で可決
須恵町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改改正する条例 議員発議 (上位法の改正と刑法等の一部改正がそれぞれ施行されたことにより、当該条例の一部を改正する)	全員賛成で可決
須恵町議会基本条例の制定について 議員発議 (議会の基本理念、議員の活動原則等を定め、あわせて議会と町民及び町長等執行機関との関係を明らかにし、議会の目指すべき道を指し示す)	全員賛成で可決

福祉

かわはら ゆきはる
川原 幸治 議員が問う

障がい者就労準備セミナー実施を

町主導では、考えていない

質問を終えて

各福祉サービス事業所の事業内容、特色が1日で知ることができる、就労準備セミナー実施を是非検討していただきたい。



映像はこちら



川原 子供に何らかの障がいを抱えていて、卒業後どんな所が子供に合っているのか、福祉サービス事業所情報を、どう入手すれば良いか分からないご家庭が少なくない。そこで須恵町の障がい者福祉サービス事業所数をお聞きしたい。

福祉課長 福祉サービス事業所、施設事業所数は15である。

川原 障がい者福祉サービス事業所も多種多様があるが、事業所ごとのサービスの特色や違いなど中身を知ることが大切である。では、須恵町でペARENTトレーニングを実施されたことは。

こども家庭課長 こども家庭課の事業としては行ってない。発達に気になる未就学児をお持ちのご家族対象に、臨床心理士による発達相談など、保護者へのフィードバックなどを行なっている。

川原 ペARENTトレーニングも色々あるが、レスパイトや親子関係の強化改善も期待

できる良い内容である。しかし時間と日にちを要する。保護者などが時間を取られるのは、ハードルが高く浸透させていくのが難しい取り組みである。では、須恵町で就労準備セミナーを実施するお考えは。

福祉課長 委託先の相談支援事業所、県の障害者就業支援センターなどにご案内している。行政主体よりも、専門性の高い福祉事業所主体が効果的で、より良い就労準備セミナーが実施できると考えている。話しがあれば、取り組みに協力していきたいと考えている。

町長 専門性が必要な取り組みでの行政の役割は、補助的役割、財政、人的部分を考え、色々な人の発案を議員が取りまとめ、それを制度化することだと思っている。色々な制度を、うまく使える須恵町にしたいと思っているので、今後も活動し、提案して欲しい。

川原 適正な支援を受けることが大切。各事業所が、短期間で事業内容を説明できる機会を設けてもらうため、私が出来ることを提案し、今後検討していただきたい。



※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。

地域

たのうえ まこと
田ノ上 真 議員が問う

防犯灯の電気代負担を見直しては

すべてをLED化する。その上で。

質問を終えて

防犯灯は、自治の組織である組合の所有物なので、電気代も町が払うのではなく助成をする、と言う論旨と受け止めました。その通りだと思います。結論を待ちます。



映像はこちら



田ノ上 須恵町の組合では、組合加入者が減る一方で、今後、組合の自治機能に支障が出るのではと憂慮する。

防犯灯は、住民はもとより、就業する人、通過する人、あらゆる人に利益があることから、公費で賄う合理性を持ち、組合加入者減の現状から、電気代への補助は、地域負担の軽減につながり、公平の観点からも必要と考える。

町内の組合所有の防犯灯の数は。

総務課長 数字的な面は、7年度事業で明らかにしていく予定なので、現在のところ正確に把握していない。九電関係者に聞くと約2000灯程度あるのでは。

田ノ上 年間の防犯灯の電気料金の推定額は。

総務課長 昨年、区長会に問い合わせたことがあった。全区からの回答ではないので、推定値になるが800万円

を超える程度になるのでは。

田ノ上 800万と仮定して、町内世帯数1万3000。粗い計算だが一所帯615円程度。未加入所帯を44%と仮定すると352万ぐらいになるが、加入世帯が負担している。加入1世帯当たり負担額は。

総務課長 組合ごとに徴収基準が違う面もあるが、年間で大体1043円になる。

田ノ上 それを承知した上で試算すると、加入世帯は年間428円ほど過剰に払っている。

今後、組合加入率の推移の想定は。

総務課長 現状維持か微減傾向と見ている。

田ノ上 加入世帯の負担は微増し続けていくか。

総務課長 加入率が減れば、負担は増えていくと考える。



※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。詳細は、映像配信をご覧ください。

総務建設産業委員会 | 令和7年1月31日(金) | 委員会レポート

須恵町の農業の現状と課題、
および方向性について

令和7年1月31日、須恵町の農業の現状と課題および方向性について、地域振興課の説明を受け、意見交換を行いました。

須恵町の農業の現状

現在、町内の住宅の増加により、多くの農地が減り、今後も大幅減少が見込まれます。平成26年と比較して農地面積が22.9%減、農業者の減少率11.9%となっています。

農地従事者の高齢化、70代から80代が66%となっており後継者の問題など、全国的に農業を取り巻く課題に明るい展望は見いだせないのが現状のようです。



須恵町の農業政策の今後は

今後の課題

農地が減少した場合、農地が有していた機能としての、雨水を一時的に貯留し洪水や土砂崩れを防ぐなどの役目を果たせなくなります。

また、農業者の高齢化や後継者不足が顕著になる中、それぞれの地域で、農業用施設の維持、管理が行われています。このような課題の抜本的な解決策が見いだせていないのが現状です。



開発が進む農地

議会の視点

須恵町において、農業がなくなってしまうようなことはないと思いますが、将来的には宅地化が進むことによって農地がさらに減り、高齢化や後継者がいないことで、農業者が減っていく現状は、

止めようがないように思います。

議会としても、農業の現状および方向性について注視してまいりたいと思います。

3月定例会 諮問の結果

人権擁護委員の推薦

任期満了にともない再任 岡本 省二氏 (大島原区・70歳)

「防災対策、一段と強化」
— 須恵町中部防災センター^{しゅんこう}竣工 —

従来、防災施設が整備されていない須恵川の右岸地域に、防災拠点が必要との地域の要望を踏まえ、平成27年に用地取得。以来、10年の年月を経て昨年6月より工事に入り、本年3月27日、須恵町中部防災センター竣工式が行われました。

2階の防災会議室には、現在アザレアホールに設置している防災行政無線非常用可搬型親局装置を移設し、災害時、もし役場が被災した時は、臨時に災害対策の指揮所となる機能を備えています。また、1階には、指定避難所として活用できるホール(防災教育室)や、防災倉庫、事務室、厨房などを配置しています。ホールの空調は、ガスヒートポンプによる運転で対応し、緊急時に停電が起きることを想定し、応急の発電機能も備えています。

隣接地には、消防須恵分団格納庫が設置され、分団の活動もここで行われます。

平時には、公民館として多くの方々に利用していただくことを望んでいます。

《事業費》	約4億5千万円
《所在地》	須恵町大字須恵171番地1
《施設概要》	

	中部防災センター	消防団格納庫
・建築構造	鉄筋コンクリート造2階建て	木造2階建て
・敷地面積	3312.35㎡	729.22㎡
・建築面積	491.20㎡	56.50㎡
・総床面積	728.52㎡	99.34㎡



避難所として、地域の集いの場所として活用されます！



避難所としても活用される防災教育室



3月27日竣工式が行われました



地域防災の要！須恵町消防団格納庫

議長通信



松山 力弥 議長

議案の提案権
(発案権)

議会は、町が提案した議案(予算含む)を決定する権限を持っていますが、議会自ら議案を提出(発案)する権限も持っています。これを議会の

議案提案権あるいは発案権と言います。

3月定例会で、この提案権により「須恵町議会基本条例」を提出し、採決の結果、議員全員の賛成で可決しました。この条例については、本紙に詳しく掲載しておりますが、議会の基本理念、議員の活動原則などを定め、あわせて議会と町民および町長等執行機関との関係を明らかにするものです。

議会の目指すべき道を指し示す、議会運営における最高規範と位置付けています。

また、議会が提出する条例については、町執行部に要請する事項もありますし、全ての条例は、町長にも提案権がありますので、事前に町長へ内容説明を実施する必要があります。一方的に議会が提出し、採決している訳ではありません。

今後は、議会内部の基本ルールを整備し、議会運営方針をお示しする条例だけに留まらず、住民の皆様の福祉の増進に関わる条例などにも、積極的に提出していきたいと思えます。



執行部の答弁は実行されているのか？

一般質問のその後

過去の一般質問の内容に対し、どのような対応がなされたか、また、どのように町政に反映されているのか追跡しました。



通学路の安全確保は(令和5年6月議会)

質問 通学路の危険個所の安全点検と安全対策の実施など、安全の確保について伺います。

答弁 通学路における危険個所の改善要望が提出されるので、難しさはありますが、必要性、緊急性を判断し、対応しております。

現状 令和6年4月、改善要望が提出されていた信号機のない横断歩道(乙植木デザートランド付近)に、歩行者用の押しボタン式信号機が設置されました。また、通学路にグリーンベルトの整備も行われています。

その後

待望の歩行者用
押しボタン式信号機が
設置された横断歩道グリーンベルト上に
沿って通学する
児童たち

議員コメント

毎年、接触事故が発生していた信号機のない横断歩道に歩行者用押しボタン式信号機が出来たことで、子どもたちが安全に通学できるようになり、保護者も大変喜んでいました。

通学路のグリーンベルトも整備され、交通安全の確保と子どもたちの通学時のマナーも向上したと思います。

おかえりなさい！ 無事帰還のトイレトレーラー

令和6年1月1日の能登地震発災により、災害復旧と被災者支援のために須恵町のトイレトレーラーを輪島市に派遣しました。

1月9日に須恵町を発ち、寸断された道路を縫うように現地に到着。たどり着くだけでも必死の作業でした。その後は、現地に役立ってもらいながらも、昨年9月21日の能登半島豪雨により、まさかの被災。点検修理を経て、先日まで健闘し、3月21日の朝、無事に須恵町に戻ってまいりました。ご苦労様と言いたい気持ちです。車体を見ても苦労がしのべれます。

災害報道に接するにつけ、トイレの重要性が分かります。理想を言えば、各避難所に1台あれば安心ですね。



約1年2カ月ぶりに支援を終え帰ってきたトイレトレーラー

すゑ子未来ちゃん



No.68

作・田原ウーコ
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <https://polyworks.jp>

町文化協会創立40周年記念
芸文祭に参加しました！

須恵町議会全員で、北島三郎さんの「まつり」を披露しました

本会議傍聴
のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される人は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要)

議を生で
生でみて
みよう！

次の定例議会は
6月6日からの予定です。

\ 本会議を /
ホームページで
公開しています！

映像配信



会議録

